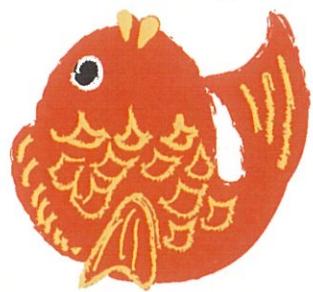
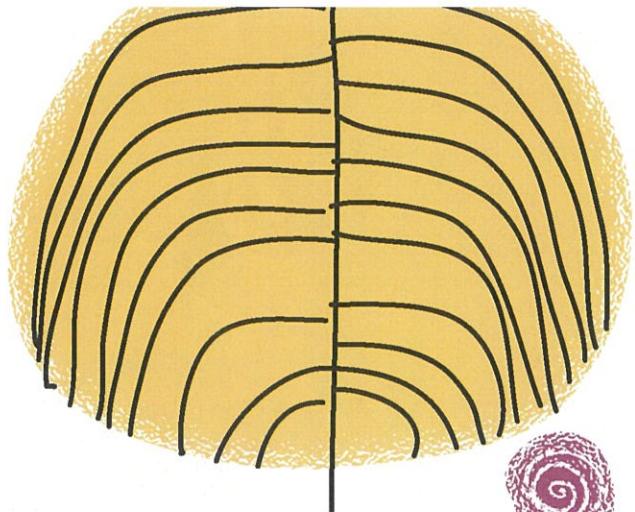
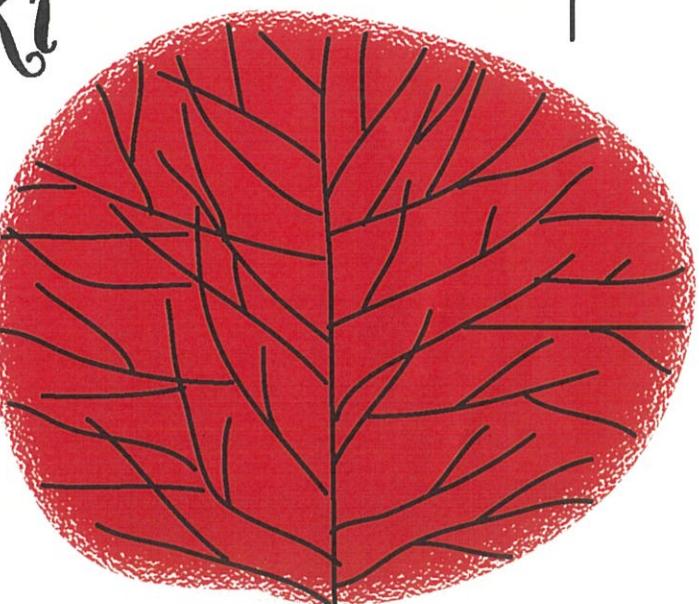
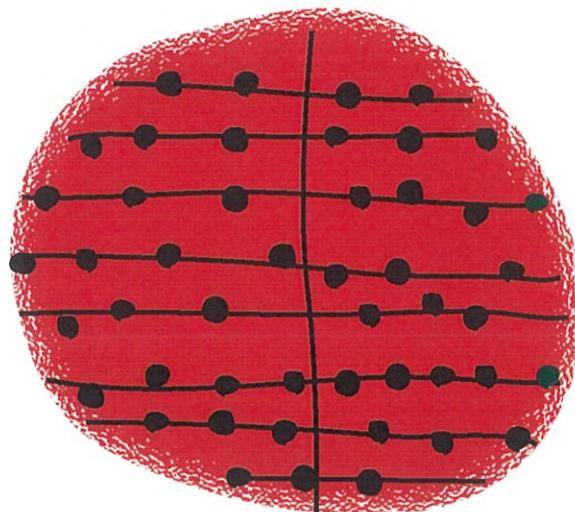
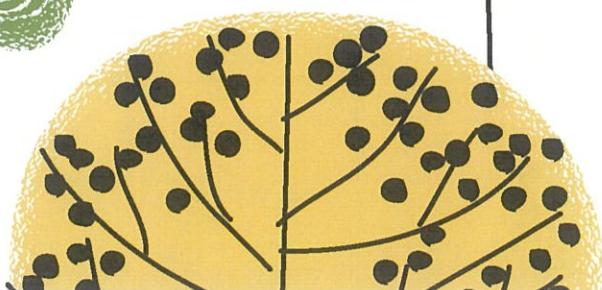
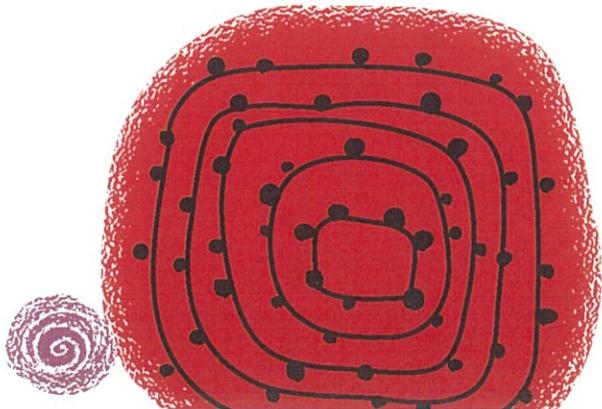


社会福祉法人 種の会 アルテ子どもと木幼稚園  
〒164-0001 中野区中野 1-59-5  
Tel 03-3365-0602  
ホームページ URL <http://www.tanenokai.jp/>

# ArteKodomotoKi



えんどうより





明けまして おめでとうございます  
今年もよろしくお願ひします！



園長 山田寿江

新しい年を迎えるました。今年は、どんなことや人との出会い、関わりを通しての学びがあるでしょうか。希望を持ち歩みだしました。新たな問いも生まれることでしょう。どのような道でも対話しながら一緒に進んでいけると期待しています。

世界的にも厳しい状況は続きます。和やかに食卓を囲むことのできる幸せが、どの国の人にとっても当たり前にある世の中であって欲しいと心から願っています。

### 子どもが教えてくれたこと

子どもは“やってみたい”を原動力に新しいことへ挑戦していきます。チャレンジ精神にダメだったら…？という発想はありません。“やりたい”がエネルギーとなり、どうすればできるか？と次へつなげていきます。子どもから学ぶ姿勢をもって大人も前進したいですね。

毎月の誕生会は、乳児と幼児の2回制。乳児の会の終了後に、プランナーに「どうだった？」と聞くと「次は、大きな声でやる」と言うメンバーがいる中、Kちゃんは沈黙のまま…。すると「Kちゃんはもう少し大きな声だと、もっといいと思う」と声をかけた仲間がいたのです。その姿を肯定した上で“さらに良くなるよ”とメッセージを送ったのです。その後のKちゃんの表情は、見違えるほど明るく声にも張りがありました。意見や考えを持つことも大切ですが、それをどう伝えるかは、とても難しい。子どもから学んだ一場面でした。

年長児は就学に向けて、さらに力をつけて飛躍していく時期です。楽しいだけではない、上手くいかないことも話し合い、対話しながら次へつながる経験としていきます。

### 「どう思うか？」を問い合わせ、共に考えること

公開保育を活用した保育の向上システムがあります。社会的ニーズや家庭の必要に応えつつ、法人内で取組んでいます。各園の特性を活かし、独自性と多様性を尊重した新たな時代の保育を目指しています。子どもの姿をじっくりと見て、その学びを捉えられるメリットもあります。

公開保育では、どのような環境設定や意図的な展開が良いのかを観察者に問い合わせ、応じてもらいます。保育に正解はありません。自分達で創りあげていくのです。

人が生きていく上でも絶対的な正解はありません。想定外ばかりの世の中で、どう生きるか。子どもが生きづらくならないよう、大人は経験値から「こうしなさい」と子どもに言いたくなるものです。子どもの幸せを願うなら「人（自分）を大切にする」心を育みたい。そのためには、正解となる概念を言わず、「どう思う？」と一緒に考えていくことが必要ではないでしょうか。正解がないからこそ、これから時代の中で何が大切な問い続け、自分（みんな）にとっての幸せをみつけていけたら…と思っています。

今月号のテーマは“人との関わり”です。それぞれの年齢で人との関わり方も違ってきます。各クラスのページで子ども達の日々の様子をお伝えしていますのでお楽しみください。

## 子どもは真っ白なキャンバス

子ども達とテラスで絵の具遊びをしました。いつもと違う場所でいつもと違う画材が出てきただけで子ども達のテンションは上がります。何をしても面白いようで声をあげて笑いながら描いていた時のことです。私は手を滑らせて筆を床に落としてしまいました。  
「馬鹿じゃないの～」とAさんが笑いながら言いました。

物をこぼした時、私の母は「あ～あ、やると思った」と冷たく言いました。母の冷たい視線は私の言葉を奪い、悲しさと悔しさが心を締め付けました。転んだ時も「何やってるの？」とあきれ顔で言いました。わざとこぼしたり転んだりしているわけではないのに。普段はとても優しい母でしたが、働きながら私を育て、忙しさの中で出てしまった言葉なのでしょう。当時は働く女性は少なかったですから、今は母の気持ちもわかります。このように相手が失敗した時に返す言葉を私は母から習い、失敗した友達に冷たい言葉を浴びせてきました。もちろん、私はその後の人生で痛い目に合いました。

「馬鹿じゃないの～」と言ったAさんに、私は「先生、馬鹿って言われたら悲しい」と答えました。Aさんはキヨトンとした顔で私を見つめています。周りの子ども達が慌てて「先生、大丈夫？」と言って床に落ちた筆を探し始めました。それを見たAさんも「大丈夫？」と言うので「ありがとう、大丈夫よ」と答えると、Aさんは再び笑顔に戻りました。

子ども達は、大人の使う言葉や仕草を見てそれを真似ます。特にそれが信頼できる大人であれば、その人の言動が正しいものと思って真似するのです。自分から出る言葉や一緒に見るテレビや動画も含め、それが子どもにとってどう影響するのか、大人は、その重要さをいつも頭の片隅に置いておく必要があると改めて感じています。

主任 黒木





# 0さい Ato



ねえ、これよんで～

好きな絵本を持ってきて保育士に差し出し、ちょこんと保育士の膝の上に座って、これ読んで！とリクエスト。すぐにみんなも集まります。

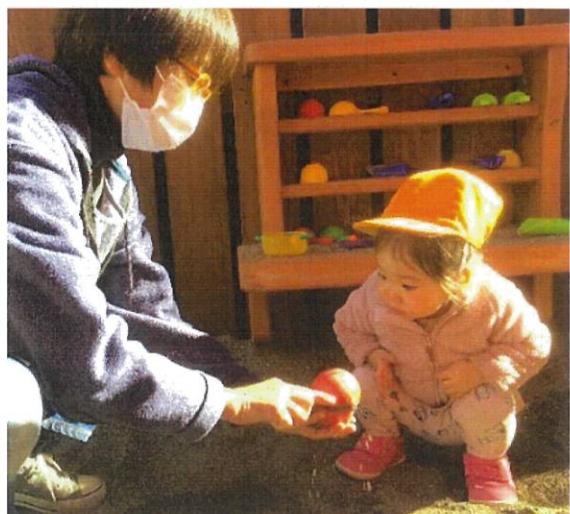
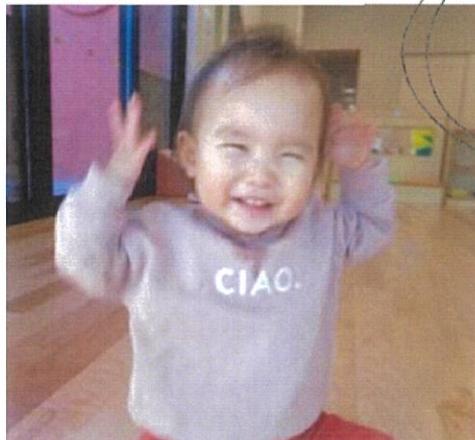
バナナが出てくると指でつまんで食べる真似をしたり、大好きな車が出てくると指をさして興奮気味に「ぶーぶー」と教えてくれたり、「嫌だ、嫌だ」というフレーズでは、嫌な顔をして首を横に振ったり。

日々、どんどん言葉を理解していく驚きます。



## アイスクリーム???

保育士が砂でみんなの大好きなアーリスクリームを作ってくれるのを、じーっと見て待っていました。アイスクリームができあがって手渡されると両手で大事そうにもらい、こぼれないようにそーっとそーっと持って歩いていました。



## 「おいしー おいしいねえ」

ままごとでは、保育士の口にフォークを持ってきてアーンと食べさせてくれたり、「かんばーい！」と保育士がすると、すぐに覚えて、面白くて何度も繰り返したり。言葉でも伝えられるようになってきた子ども達からは「おいしー」「おいしいねえ」と言い合う姿も。

栄養士の先生が見に来てくれると、カッコよく食べる姿を見せたり、おかわりをもらってご機嫌です。



低月齢の子ども達も、大人の言葉を理解し、名前を呼ばれると、ハイ！！

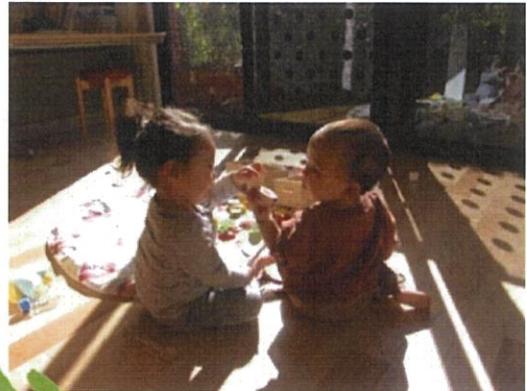
にっこりと両手を挙げて答えてくれます。

保育士にせっせと玩具を渡し、ありがとうと受け取るとニコニコ顔に。

そんなやりとりを楽しんでいます。

## おともだち、だいすき♪

保育士とだけでなく、子ども達同士で手を繋ぐことが楽しくなってきました。「まだお部屋に入るの嫌だよ～」と座り込んでいた子も、保育士の手を繋いで帰ろうか～の声掛けにかけよってきます。



お友達への興味も高まり、自分からお友達に近づいていき、一緒に遊ぶ姿も増えてきました。

ぬいぐるみを並べて、「ねんねー」と言いながらお腹を優しくトントントン。気分も手つきもすっかり先生。よく見ていますね。



お友達が大好きで、一緒に並んで遊ぶことも多くなりました。自己主張も出てきており「わたしの一！」「ぼくの一！」と、時に玩具や場所の取り合いになることもあります。やりとりを見守りながら、お互いの気持ちを受け止め、保育士が言葉で伝えるようにしています。



わあ！面白そうなことしているぞ！

1歳児クラスの子ども達とも一緒に活動する時間が増えました。

「〇〇ちゃん、はい、どうぞー」など名前を呼んでもらって見つけた小枝をもらったり、1歳児クラスの子ども達がやっていることが楽しそうで、近づいて真似てみたり。良い刺激を受け、どんどん世界が広がっているようです。

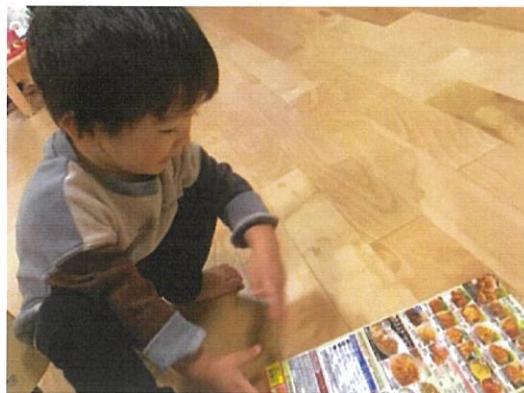


お友達との関わりが増えた分、自己主張も強くなってきましたが、それぞれの気持ちを大切に受け止めていきます。友達や様々な人と関わり、健やかに育つてほしいと願っています。

今月のうた

♪ゆき  
♪コンコンクシャン  
のうた

# 1さい Ato



## ・真似っこ遊びからごっこ遊びへ

寒い日が続く季節になりましたが、子ども達はとっても元気。戸外も室内の遊びでも楽しそうな声が聞こえています。

最近のおままごとコーナーでは、お店屋さんごっこがちょっとしたブームです。

先生のところにメニューを持ってきて「いらっしゃいませ、ピザ屋さんだよ」と、店員さんになりきっています。「どれが良いですか？」や「おすすめはチョコレートだよ」と、楽しそうにメニューを見せてくれる小さな店員さん。これにしようかな、と保育士が言うと嬉しそうに「はい、どうぞ」とご飯を出してくれます。ありがとうございますや美味しいよ、の言葉を聞くと子どももにっこりの笑顔！

店員さん・お客さんの役になりきってごっこ遊びを楽しんでいます。

## ・「どうぞ」「ありがとう」の言葉

まだまだお友達との関わりも成長中な子ども達。隣同士で遊んでいても、数秒後には玩具の取り合いに…などと言うことも沢山あります。

ある日のこと、Tくんが持っていた玩具が欲しかったEちゃんは「かーしーて」と言いますが、Tくんも玩具が使いたいので「あーとーで」と答えます。何だか泣きそうな顔になってしまったEちゃん…。

そんなEちゃんを見て、Tくんは「はい、どうぞ」と持っていた玩具を渡しました。玩具を貰うとEちゃんも「ありがとう！」と嬉しそうな表情を浮かべました。少しずつですが、お友達との関わり方にも変化が出てきます。



## ・遊びを通しての関わり

園庭に木の板を一本並べると、Tくんが来てそれを二列に並べ替えました。「Tくんは総武線！」と、その木の板を線路に見立てて電車ごっこを始めました。線路は二本と言うTくんの想いが伝わって来ます。“線路は続くよ”のメロディを「♪ふんふふふふーん、ふんふふふふーん」と口ずさみながらTくんが遊んでいると、Sくんがやって来て「Sくんも電車やる！」と遊びに参加しました。保育士も踏切役で参加です。その後も次々に子ども達が来て、二本の板から広がった電車ごっこは大人気となりました。



進む方向が反対向きだったKくんとSくんがお互いに通せんぼになってしまい場面がありました。どうするのかな？と保育士が見守っていると、Kくんが木の板から降りてSくんに線路を譲りました。そして、Sくんが通り過ぎるのを見て、再びKくんも線路にもどって遊びの続きをします。その優しい雰囲気がみんなにも伝わって、鉢合わせになりそうになるとどちらかが道を譲るという遊びが続いていました。



日常の遊びの中で、お友達のことを意識していると知れた瞬間でした。お友達と関わって遊びを楽しむ姿に成長を感じています。



今月のうた

♪ゆき  
♪コンコンクシャン  
のうた



# 2さい Pico



～先生、ぼく・わたしのこと追いかけて～



～〇〇ちゃん手伝って～

“どうすればいいの？” “わからないな”

“できないよ”と思った時は、先生に助けを求めれば解決してくれるというのが当たり前だった姿から、友達に聞いてみようという気持ちがうまれてきました。

「ちょっと手伝って」とお願いしてみたり  
「やってあげようか？」と困っている様子に  
気付いて声を掛けたり、友達同士で解決する  
ことが増えてきました。

オオカミごっこが大好きなピコ組さんは、保育士がオオカミになって追いかけると、笑顔で「キャー」と言いながら逃げたり、つかまえて欲しくて立ち止まってみたりと好きな先生と遊ぶ事を楽しんでいます。「〇〇先生、公園行ったらオオカミごっこしようね」と約束する様子もみられる程度です。

先生を独り占めして遊んでいると、パッと横から友達が入ってきました。「今はボクが先生と遊んでいる」「私も遊びたい」と保育士の取り合いが始まります。順番を決めて遊ぶなどしていますが、ボク・私を見て欲しい気持ちはまだまだあり、独り占めしている時の喜びはかけがえのないものです。大好きな大人の人と充分に関わる事で安心して生活し、興味を持って活動に取り組めるようになります。



手伝ってもらった友達は優しくされると嬉しいという思いを知り、今度は自分が優しくしたいという思いになってきます。手伝ってあげた友達は自分がしたことで、喜んでもらえて嬉しいと思い、次も手伝いたいと思えるようになります。



### ～高く積み上げたいね～

仲良しの2人が積み木を高く重ねて遊んでいると、その様子を見て「いれて」と友達が参加しました。最初は4人で積み木を奪うようにして取り、自分がたくさん重ねるのだというようにどんどん積み上げていきました。しかしすぐに崩れてしまいます。何度も遊んでいるうちに高くしたいという気持ちにかわり、積み木を置く手がゆっくりになりました。

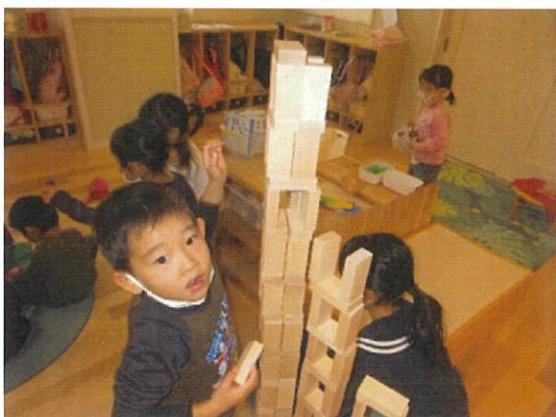


一人で出来ない事も友達と考えたり力を合わせたりすると“出来る事が増える”ということに気付いてきました。関わって遊ぶことの楽しさを少しづつ味わってほしいと思います。





# 3さい Nano



久しぶりに積み木を出すと、高く重ねて遊びはじめました。最初は一人で積み上げていましたが、その様子を近くで見ていた友達も集まってきて「い～れ～て」や「いっしょにやろ～」と、声を掛け積極的に友達と関わろうとする姿が見られます。

以前は、遊びの中で各々がやりたいことを言葉で表すことが少なく、遊びが続かないこともあります。今では「つぎは、こうしてみない?」「いま、何個繋がってるかな?」と、相手に相談したり、自分の気持ちを伝えたりと遊びの中での会話のやり取りが増えました。



高く積み上げると「何処まで大きくする?もう、ぼくより大きいよ」と、嬉しそうに積み木の横に立って自分の背と積み木の高さを比べていました。積み木を並べてドミノ遊びもはじめました。長くなるように友達と協力して作っています。まっすぐだったドミノが途中からクネクネと曲がったり、行き先が2本に分かれたりするようになりました。途中で壊れてしまっても、それもまた楽しいようで「もういっかいやろう!」と、笑顔で誘っていました。

## ～異年齢でお散歩～



2さいピコ組と高根公園に行きました。年下のお友達と手を繋ぐことを喜ぶ子どもがいれば、少し緊張している様子の子どももいます。お互いに顔を見て笑いかけたり、下を向いて目を合わせなかったりしていました。

公園に到着すると一斉に固定遊具の方に遊びに行きました。乗用遊具には順番を待つ列ができました。2さいピコ組さんが乗ると「いーち、にーい、さーん」と10までの数を数えてあげていました。



保育士と子ども達と輪になって手を繋いで、台からジャンプして遊びました。順番に跳ぶことが楽しいようで何度も繰り返します。2さいピコ組さんが興味を持って近づいて来ると、保育士のように手をとり、台の上からのジャンプを優しく促す姿がありました。

「何か音がする！」と公園奥の塀の隙間から電車が見える場所を発見！低い姿勢になって外側を覗きこんでいました。電車が通ると「バイバ～イ」と一緒に手を振る子ども達でした。

ナノ組では1番小さなクラスなので、年上の子ども達にお世話をもらうことが多いですが、年下の子ども達と関わる中で、自分達が“してもらったこと”を“してあげる”姿が少しずつ見え始めたことに成長を感じています。



今月のうた

♪まめまき  
♪ゆきやコンコ



# 4さい Nano



## 心と体で触れ合う

音楽遊びの1コマ、ベンチ役とお年寄り役になって触れ合い遊びをしました。役になりきる自分や友達が面白おかしく笑いが絶えません。ピアノの音が止むとお年寄り役がベンチに腰を下ろします。座る瞬間、優しく座ろうと加減したり、座りやすいように体制を保ったりしてお互いの様子を気遣う姿が・・・ジーンときました。



## 模倣からごっこ遊びへ

Aさん「お茶ください。」Tさん「はーい、少し待ってねー。」おままごとコーナーはいつも活気にあふれています。「熱いので気をつけてくださいね。」とおしとやかに料理を運んだり、「は～！忙しい忙しい！急がなくっちゃ！」とせわしなく動いたりする姿にクスッとしてしまいますが、子どもたちは大真面目に役に入り込んでいます。これまでの経験を思い出し、真似することで多様なごっこ遊びにつながっています。

## 「いくつにする？」

順番待ちをするブランコ、異年齢で一緒にあって数を数えながら待っていました。「いくつで交代にしてるの？」と聞くと、「80だよ！」と教えてくれました。聞けば、はじめは30だった数がどんどん増えていったそうです。

遊具遊びでは、こういった順番決めを毎回子どもたち同士で話し合って決めています。お互いの意見を出し合うことを大切に見守っています。



## 「それ、おもしろいね～！」

「先生、見て～。」と頭に大きな葉っぱをくっつけたYさん。虫だそうです。地面を見ると影も虫になっていました。「なになに？」と近くにいた友達が興味津々で集まりYさんの影を見ていました。発見したことを友達と共有でき、ますます楽しくなったYさんでした。

イメージを他者と共有したとき、受け入れてもらえると嬉しい気持ちになりますよね。発想豊かな子どもたちの世界がより深く広がるような関わりをしてまいります。

A decorative border featuring blue and white stylized flowers and leaves, containing the following text:

今月のうた  
♪雪のペンキやさん  
♪まめまき



# 5さい Nano



私たちはアルテのおにいさん、おねえさん

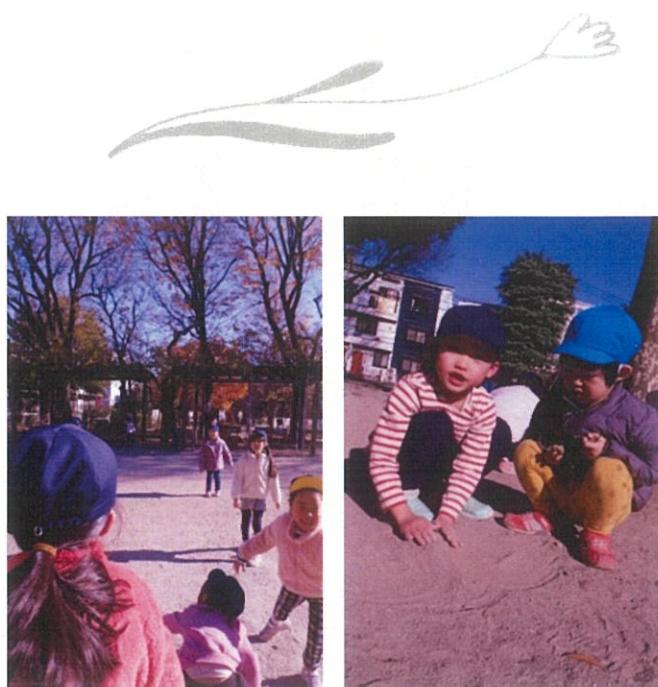
保育園生活も残り3か月となりました。最近では今日の予定が分かると、見通しを持って考え、時計を確認しお片付けをしたり、子ども達同士で声掛けしたり次の活動の準備をしています。

新園舎に来てからは、クラスの枠を越えて幼児で活動することが増えました。公園では鬼ごっこや砂遊び、落ち葉や木の実探しなど年齢問わず一緒に遊んでいます。

公園からの帰りに上着のチャックを閉めるのに苦戦していた年下のお友だちにそっとお手伝いをする姿や、ひらがなが書けないお友だちに「私が書こうか?」「どこに書く?」と分からないことや、出来ないことを優しく教える姿が多く見られるようになってきました。そんな姿はすっかりお兄さん、お姉さん。年下のお友だちにどう接していいか分からず戸惑っていた姿が、遙か昔のように感じます。



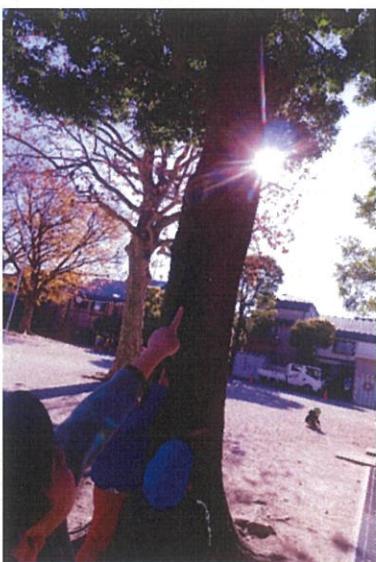
公園で始まった“だるまさんがころんだ”息を潜めオニに近付いていきます。オニは目を光らせ少しでも動くと、「動いた!」と名前を呼び、その都度「え~! 厳しい!」とみんなの笑い声が公園に響いていました。そんな楽しそうな様子を見て、興味を持った小さいお友だちがオニの横に立ち、一緒になって「だるまさんころんだ!」と真似っこしていました。一瞬、みんなキヨトンとした様子でしたが、「可愛いね」と笑顔になり、一緒に“だるまさんころんだ”を楽しむ姿がありました。年下の子を配慮し、労わることで思いやりの心が育ってきた5歳ナノ組の子ども達です。



公園へ散歩に行ったある日。いつものように冰オニが始まります。逃げるA君をオニのB君がタッチした瞬間、A君が転んでしまいました。「B君に押された」と涙をこぼすA君と「押してない」と戸惑うB君に気付き、みんなが集まつきました。どうするかなと様子を見ていると、「大丈夫?」「オニになると押しちゃうこともあるよね」「怪我なくて良かったね」と、どちらの味方をするわけでもなく、どちらの気持ちにも寄り添う子ども達の姿がありました。A君もB君も落ち着くと、相手の立場になって考えることができたようで、お互いに「ごめんね」と伝えて合っていました。



以前は自分の思いを通すことが多かった子ども達も、今までの嬉しかった経験や、苦い経験など、自分の体験や経験と重ね合わせ、自分もそうだったと話したり、困った時はアイデアを提案し、相手の気持ちを考えられるようになったり、友だちが困っていると手を差し伸べる姿が多く見られるようになってきました。



日々の活動はもちろん、運動会やアート展などの行事を通して、自分たちが経験したことが自信となり、優しさとなり、心も身体も大きく成長しているように感じています。





# 1月のほけんだより

冷え込み厳しい毎日です。体調管理をし、素敵なお正月をお過ごしください。



## スキンケアしていますか

冷たい空気と部屋の暖房の為に空気がとても乾燥しています。子どもの皮膚は薄く、皮脂の分泌も少なく乾燥しやすいのかぶれなどの皮膚のトラブルが多くなります。清潔と保湿ケアが健康な皮膚を作る基本です。

**登園時にワセリンなどで保湿してくると、園外活動の時の皮膚乾燥を防ぐことが出来ます。**

## 冬の服装について

子どもは体温が高く汗をかきやすいため大人より1枚少ない服装を心掛けましょう。

- \*下着を着けて冷やさないようにしましょう。
- \*薄手の服を重ね着し、室温に合わせて脱ぎ着しやすいものにしましょう。
- \*上着は袖口や首元がピッタリと閉じているものにしましょう。

## 1月の予定

### 発育測定

1月8日(金)

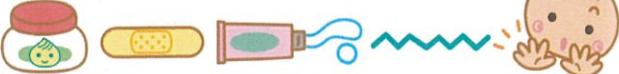
0歳児健診

1月7日(木)

1月14日(木)

\*月2回の0歳児健診に園医先生が来ます。お子さんの健康状態で気になることがありますたら看護師までおかけください。

\*保健室より掲示を出しています。  
参考にしてください。



アルテ子どもと木幼稚園 保健室

## 気をつけよう！しもやけ

しもやけは、皮膚が温度差に耐えられなくなり、血行が悪くなることで起こります。手足を急な温度変化にさらさないように、気をつけましょう。

**× はだしのまま  
冷たい床を歩く**



園では室内温度を調整して足が冷えるのを予防しています。

**× はだしのまま  
靴を履く**



靴を履くときは、必ず靴下をはく。

**× 寒い所であそんでいて、急に  
お湯で手を洗う。**



手足を洗う場合は、ごくぬるいお湯に。

園では、手を洗った後はしっかり水けをとって乾燥予防に努めています。



# 食育だより



2021年1月

寒さでつい体を丸めてしまいますが、今年も終わりに近づいてきました。楽しかったことを思い返したり新しい一年がどんな年になるのか考えるとわくわくしてきますね。

お正月にいただく“おせち料理”見ているだけで気持ちが華やぎますが、一つ一つ食材の持つ意味なども知りながら家族みんなで味わって欲しいと思います。1月には他にも七草・鏡開きなど食に関わる行事があります。ご家庭でも子どもたちと一緒に、今しかできない体験をしながら、行事や食材への興味を深めていけると良いですね。



どんな願いが込められているの?  
～おせち料理～

家族の健康や発展・安全に過ごせますように…

このような願いが込められたものが「おせち料理」です。それぞれの由来を知って楽しみながら食べてみて下さい！



くろまめ

まめまめしく

(いつわりなくまじめに)

生活できるように



昆布巻き

「喜ぶ」に  
かけています。



かずのこ

子宝に恵まれるように



田作り

豊作を願います



だて巻き

巻物の書物に見立てて  
知識の発展を願います



れんこん

将来を見通せるように



えび

腰が曲がった老人に



かまぼこ

おめでたい

例えて長生きを願います　日の出を表しています

七草がゆと鏡開き

1月7日は「七草がゆを食べる」日です。  
無病息災を祈って、春の七草を入れて炊いた  
かゆでお正月に疲れたお腹を整えるために食  
べます。七草とは、せり・なすな・ごぎょう・  
はこべら・ほとけのざ・すずな（かぶ）・すず  
しろ（だいこん）です。保育園でも7日の給  
食に提供します。

1月11日は鏡開きです。鏡開きとは、お  
正月に神様、仏様に供えていた鏡餅を下げる、そ  
れを食べる風習です。神様に供えた食べ物に  
は力が備わると考えられ、神様や仏様に感謝  
しながら食べることによって、無病息災を祈  
願しています。

## 子どもたちに大人気!! 献立紹介 シュガーラスク

【材料】(幼児2分)

- ・食パン(6枚切り) 1枚
- ・グラニュー糖 2g  
(または砂糖)
- ・バター 2g

【作り方】

- ①バターは常温に戻し  
ておく
- ②バターとグラニュー  
糖を混ぜる
- ③食パンに②を塗る
- ④オーブン、トースタ  
ーでこんがりになるま  
で焼く



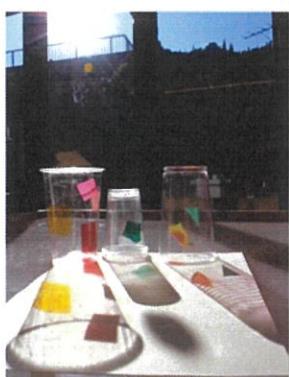
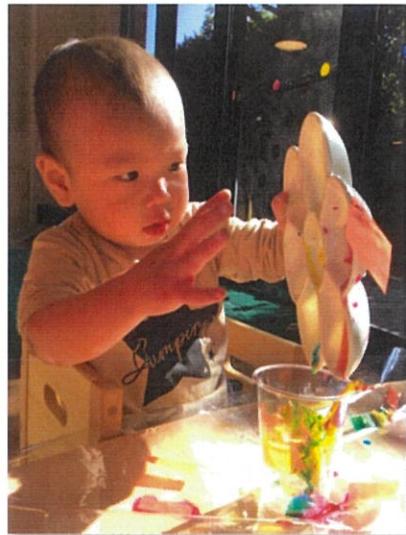
# Atelier

「アートを通して人がつながるとき」

なことが多い一年でした。しかしその中にありながら、アート展では足元も悪くとても寒い日であったにもかかわらず、本当に多くの方にご来園頂いたことに心より感謝申し上げます。

ですが、私は今回のアート展でひとつだけ心残りがありました。それは、明るい太陽の日差しの中で子ども達の作品を観ていただくことができなかったことです。

特に1階ホールで展示していた1歳アト組の透明カップを使った作品『～光の中で～』は、ドキュメンテーションでもお伝えしたように、子ども達は材料との出会いの場面から豊かな光に包まれ、自分のカップだけではなく自分自身に当たる光や影などの美しさをもその場で感じながら取り組んでいました。だからこそアート展当日には、それらの「光・影・色・輝き」などの全ての要素を、活動した子ども達が感じたままの環境で、ご来園された方々に是非とも感じ取って頂きたかったのですが、それはかないませんでした。



週が変わった月曜日、アート展で行われた「つなぐワークショップ」だけが残るホールには、暖かな日差しが差し込んでいました。私は「この光の中でこそ、子ども達の作品を観て頂きたかったなあ」と改めて思いながら、1階ホールのライトテーブルの上にアトリエに、残っていた1歳のKくんと保育者が一緒に作ったコップを三つ並べました。輝く太陽の光の中で、作品はとても美しい色の影を三本伸ばしました。

同じ日の午後、ホールで12月の誕生会プランナーの集まりがありました。「誕生会プランナー」とは5歳ナノ組の子ども達が5~6人のグループに分かれ、各月の誕生会の内容を考えたりバースデーケーキを作ったりする取り組みです。その日はバースデーケーキ作りのための集まりの1回目で、どんなケーキにするか話し合っていました。そして保育者が材料の話をしていたすぐそばに、上述のKくんの『～光の中で～』がありました。

プランナーの子ども達はすぐにその「光」と「影」と「色」の美しさに魅了され、近くにある材料を使って探究を始めました。

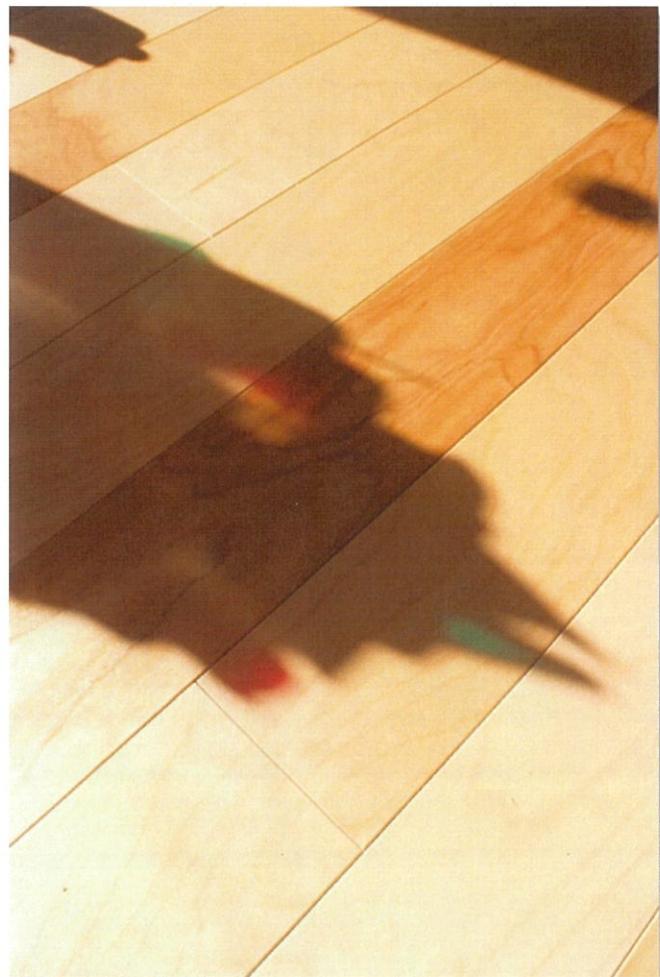


明けましておめでとうございます。  
こうして新しい年を迎えたことに、謹んでお喜びを申し上げます。

昨年は様々なことが中止を余儀なくされたり、たとえできたとしても形を変えての開催となったりと、残念

ケーキ作りの活動を通して、1歳の子ども達が『～光の中で～』の活動の中で感じた美しさの「要素」を、5歳の子ども達は感覚と経験を通して受け取っていました。そして互いが気付いたり考えたりしたことを共有しながら様々な試行錯誤を重ね、その「要素」を「ケーキ」という具体物に昇華させていきました。

できあがったケーキに子ども達は「シャドー ライト レインボーケーキ（サブタイトル）～アート展からはじめました～」と名前を付けました。



乳児の子ども達が感じていたモノを、言葉ではなく作品を通して幼児の子ども達が感じ取り、さらに探究し5歳だからこそできる工夫や発展を加えていく。これはまさにアートを通して「モノ・他者・自己」の美意識がつながり、子ども達が創造的に動き出してゆく場面と言えます。

さらに自分より小さな子の作品に刺激を受けたということも重要で、何歳の子の表現であっても、本当に根源的なモノがそこにあったからこそ、誰の心をも動かし得たのであろうと思います。アートを通して人と人がつながり、年齢に関係なく何かを感じ、それにより自分が変化していくって素敵ですね。

